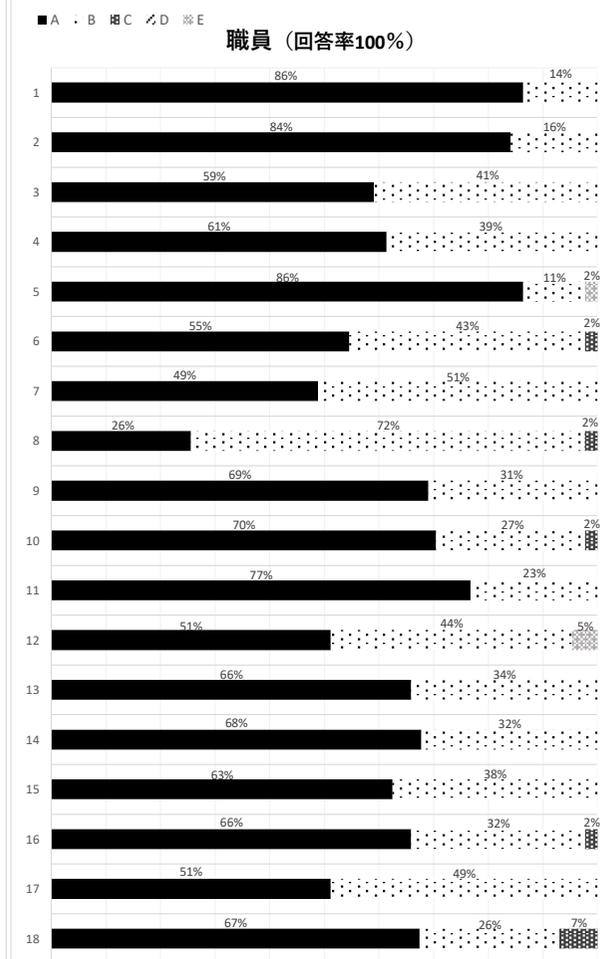
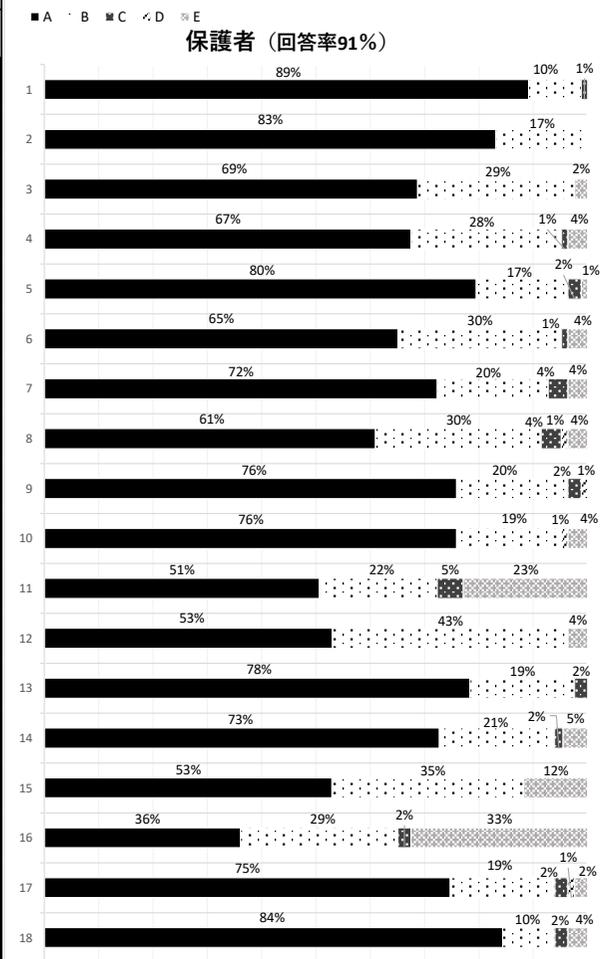


令和6年度 学校評価アンケート集計結果

【評価基準】
 ◎：Aが70%以上且つA+Bが90%以上
 ○：A+Bが80%以上
 △：A+Bが80%未満

項目	内容	評価	上 期 比	
			A+B(%)	上 下 期 期
安心・安全	1 学校は、子供が安心して学校に行くことができるように努めている	◎	99%	
	2 学校は、子供が健康で安全に過ごせる環境づくりに努めている	◎	100%	
学校教育目標	3 学校は、学校教育目標「ゆたかな心」の育成に努めている	○	98%	
	4 学校は、学校教育目標「たしかな力」の育成に努めている	○	97%	
情報発信	5 学校は、学部の様子等を連絡帳や学部だより、ホームページなどで伝えている	◎	97%	
資質・能力の育成	6 学校は、自立と社会参加に必要な「生活する力、働く力、人と関わる力」の育成に取り組んでいる	○	96%	
授業の充実・専門性	7 学校は、授業内容を工夫し、ていねいな指導を行っている	○	95%	
	8 学校は、一人一人に応じた専門的な教育を行っている	○	94%	
	9 学校は、個別的教育支援計画や個別の指導計画を適切に作成し、保護者と共有している	◎	98%	
人権教育	10 学校は、子供の人権を大切にしながら指導を行っている	◎	96%	
	11 学校は、「いじめ」に対して未然防止や早期発見に努めている	○	82%	
進路指導	12 学校は、進路に関する相談や情報提供を適切に行っている	○	96%	
保護者との連携	13 学校は、保護者の相談に適切に対応し、保護者と連携・協力ができている	◎	98%	
交流及び共同学習	14 学校は、居住地校交流など、地域の学校と交流活動を積極的にしている(小中学部保護者のみ回答)	◎	96%	
事業所との連携	15 学校は、卒業後の生活を見すえ、地域の事業所と積極的に関わっている(高等部保護者のみ回答)	○	92%	
センター的役割	16 学校は、小学校や中学校等の教育相談に応じたり、研修の講師を務めたりするなど、地域の学校に貢献している	△	76%	
選ばれる学校	17 子供たちの学校生活は充実している(職員) 学校生活は、子供の成長の様子から充実していると感じている(保護者)	○	96%	
	18 本校で教えること「こやりがいを感じている(職員) 子供にとって本校を選んでよかったと感じている(保護者)	◎	94%	

A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない E:わからない



【分析と対策】

項目番号	分析	対策・方向性 (★下期の重点取組事項)
1, 2, 5	保護者、職員ともA評価が80%を超えているため、日々の取組が評価されたと思われる。	下期も健康教育部を中心として安心・安全な学校作りに努めていく。
3, 4, 6, 9, 12	保護者、職員とも評価がほぼ一致している。但し、12のA評価は50%程度であり十分とは言えない。	学校から家庭に向けて、進路に関する研修の実施や通信等を通じて、進路指導部を中心に情報提供を適宜行っていく。
7, 8	保護者と職員の評価に差が見られる。職員が自信を持って教育活動を推進していく必要がある。	★職員が子供に専門的な教育ができるように、研究部主導のもと、11月以降に授業研究会を通して、指導力の向上を図る。
10	保護者の回答にD評価があった。子供の指導・支援について、合意形成が図れていないと思われる。	担任や学部主事が11月上旬に保護者の気持ちをきちんと聞き取る。改善するべきところは改善し、また、合意形成を図ったうえで指導・支援していく
11	保護者にE評価が多いのは、いじめの有無の情報を家庭と共有できていないと思われる。	★いじめの有無について、12月に生活指導部が「心のアンケート」を見学生徒に実施する。実施後は個別に結果を保護者と共有するとともに概要を公表する。
13	保護者と職員の評価に差が見られる。保護者にC評価があるため、個別的な対応が求められる。	各学部とも定期的に一人一人保護者の相談にきちんと耳を傾け、適切に対応し、連携・協力を図りながら教育活動をを進めていく。
14	居住地校交流や学校間交流は11月から本格的に始まるため、BCEの評価が少し多かったと思われる。	今後も交流活動を通信やホームページ等で各学部及び研究部が紹介する。また、次年度の交流開始時期について生活指導部で協議する。
15	保護者のE評価は高等部1年生であり、学校と事業所との関わりや進路決定について、これから始めていくことが多いと思われる。	高等部職員が各事業所と綿密に関わっていることを学部懇談会や通信等で積極的に発信していく。
16	保護者の回答でE評価が多かった。本校がセンター的役割を担っていることについて情報発信が不足していたと思われる。	★本校が八代管内の小・中学校の支援や援助を行っていることをPTA総会やコーディネーター便り、安心安全メール等で支援部が知らせていく。
17, 18	保護者の回答は高い数値であったが、CやD評価があった。個別的な対応が求められる。	各学部とも保護者との情報共有を大切に、子供の個性に応じた最適な支援を行い、本校を選んで良かったと思えるような学校作りをしていく。